

耳よりな話

N.57

平成 28 年 1 月 18 日発行

(労働・社会保険ニュース)

阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax 042-722-1526

E-mail: abenenkin@ybb.ne.jp

<http://nenkinsodan.web.fc2.com/>

◎こんにちは赤ちゃん

平成 28 年の成人は 121 万人でした。これは平成 26 年度と同数で、戦後最低でした。

20 年後の成人は何人でしょう。つまり平成 27 年に生まれた赤ちゃんの数です。

平成 27 年に生まれた赤ちゃんは 100 万 8,000 人でした。20 年前より 21 万人以上も減っている訳です。それでも平成 26 年に比べると 4,000 人増加しました。

(因みに、平成 27 年に死亡した人数は 130 万 2,000 人でした)

少子化高齢化に歯止めが掛かったのであれば喜ばしいことですが。

過去の人口統計

江戸時代	3,000 万人と推計
昭和 15 年	7,200 万人
昭和 42 年	1 億人
平成 20 年	1 億 2,800 万人 (ピーク)
平成 60 年 (2048)	9,900 万人と予測されています。
平成 72 年 (2060)	8,700 万人 (予測)

◎日本はすごい !!

評論家の屋山太郎さんが、世界 41 か国で創業 200 年以上の企業がどのくらいあるかを紹介しています。(月刊誌 Voice 平成 27.7 月号)

それに拠ると、世界 41 か国で創業 200 年以上の企業は 5,586 社あり、そのうち

日本	3,146 社
ドイツ	837 社
英国	470 社
オランダ	222 社

フランス 196 社
中国 9 社…文化大革命で伝統を破壊してしまった事が、こんな恐ろしい結果になったのでしょうか。
韓国 0 社 (100 年以上 1 社のみ) …韓国の現在の繁栄は日韓併合時の日本からの莫大な投資、その後の莫大な賠償や技術援助の結果である事が明白でしょう。

以上のとおり、日本が圧倒しています。

これは日本人の優秀さ、勤勉さは勿論のこと、長期的な視野に立って伝統を継承する気質に拠るものでしょう。

【おことわり】

「耳よりな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にてその骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もいます。その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。

* 既発行の「耳よりな話」は <http://nenkinsodan.web.fc2.com/> をご覧ください。



江戸時代の物価や、大名、武士の収入や日常生活をどのようなものだったのでしょうか。怪盗ねずみ小僧が盗んだ千両箱はどのくらいの価値があったのでしょうか。

260 余年続いた江戸時代では当然ながら物価は変動したので、1 両の価値、物価の価値は一定ではありません。1 両の価値が、現在の価値に換算して 10 万円の時代から 20 万円の時代がありました。

正確な価値ではなくてもある程度の価値が分かれば、時代劇を見ても、時代小説を読んでも一層面白いものとなります。

そこで結論として、1 両を現在の価値に換算して 10 万円と考えて良いと思います。従って、千両箱は 1 億円となります。

当時の貨幣は金、銀、銭、貫文（銅銭）が使われていました。

貨幣単位は 1 両小判、2 分金 (=2 分銀)、1 分金 (= 1 分銀)、1 朱金 (=1 朱銀)、1 朱 (=1 朱銀)、貫、文です。

江戸では金、上方では銀、銭が使われていました。もちろん現在の中央区銀座の地名は銀貨を鑄造する場所であった由来です。

現代のわれわれにとって少々やっかいなことは、当時の貨幣計算が 10 進法ではなく 4 進法

であったことです。

以下のように理解する必要があります。

1両は2分金(=2分銀)2枚、1分金(=1分銀)4枚、2朱金(=2朱銀)8枚、
1朱金(=1朱銀)16枚、5貫文(銅銭)、5,000文(銅銭)と同等でした。

従って

1両=100,000円

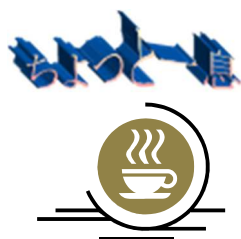
2分金(=2分銀)=50,000円、1分金(=1分銀)=25,000円

2朱金(=2朱銀)=12,500円、1貫文(=5,000文)=20,000円

1文=20円

日常生活は1文銭が使われていました。1文は約20円と考えればよいと思います。
文化・文政(1804~30)時代の物価は

そば・うどん 1杯16文(約320円)、風呂屋 1回8文(約160円)



第一生命が毎年「サラリーマン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

(本件は第一生命様から転載の承認を得ております)

第二十一回 第一生命サラリーマン川柳コンクールより

株下落 資産無いのに 大騒ぎ	日宗
数学は 弱いが計算 高い部下	感理職
宝くじ 当たるはいつも 末尾だけ	パパシヨック
昼ごはん 妻は三つ星 オレうめ星	おとろう
期限切れ 食べてあたた ためしなし	バーゲン好き